

## 令和2年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	青色パトロールカー配備事業 <span style="float: right;">【 No. 1 】</span>
申請団体	南区安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部
事業目的等	<p>◇事業目的 青色パトロールカーを地区に配備し、更に活発な防犯活動を実施する。</p> <p>◇事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青色パトロールカーの購入・配備 地区で青色パトロールカーを所有することで、麻溝地区内の子どもの安全、防犯活動（夜間パトロールも含む）、交通安全や、振り込め詐欺防止への呼びかけを行い、地区内の防犯活動をより活発に行う。</li> <li>・青色パトロールカー実施者証取得講習会の実施 新規取得者の確保と、取得済み講習者の免許更新を啓発する。</li> <li>・地域住民への青色パトロールカー配備事業への周知 相模原市自治会連合会のホームページや地域情報誌に活動状況を掲載する。</li> </ul>
交付決定日	令和2年5月25日
交付確定金額	713,000 円 （全体事業費 900,337 円）
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青色パトロールカーの購入により、パトロール回数が月4回から10回程度まで増やすことができた。コロナ禍の7月から12月の間に、58回の見回りを実施した（延べ参加人数148名）。</li> <li>・ 青色パトロールカーの配備後は、近隣小学校から運動会時の登下校を見守って欲しいとの依頼をいただき実施するなど、青パト活動が地域で広く周知され、地区の防犯、交通安全に大きく貢献していると考えている。</li> </ul> <p>◇自己評価</p> <p>長い間、地域から要望であった「青色パトロールカーの所有」が実現し、これまで長く防犯活動をしてこられた経験者からは、「この青色パトロールカーは、我々の誇り」とのお声をいただいた。また、今まで防犯活動に参加されていなかった方からも、「最近、青色パトロールカーをよく見かける、自分も参加しようかな」とお声をかけていただくこともあり、青色パト活動が、地区内でより認識されるようになった。今後も、新しい世代・仲間を取り込みながら、安全で住みよいまちづくりを目指し、地域の防犯・安全活動により活発に取り組むように努めていきたい。</p>
市 評 価	<p>麻溝地区の防犯・交通安全活動の充実が図られるとともに、地域住民の防犯意識の向上や住民同士の交流が深められる事業である。今後、長期に渡り継続的な活動となるよう、活動の輪を広げ、更なる担い手の育成に努められたい。</p> <p>また、支部内に青パト部会を設置したり、基金を設けたりするなど、持続可能で自立可能な事業にしようとする姿勢も高く評価する。</p>
備 考	

申請事業名	麻溝地区自治会加入促進事業	【 No. 2 】
申請団体	麻溝地区自治会連合会	
事業目的等	<p>◇事業目的 自治会活動の周知、自治会未加入者の加入促進</p> <p>◇事業概要 黄色い旗を使った安否確認という新たな取組みにより自治会活動を拡充した上で、地域住民に自治会の重要性を理解してもらえるよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入促進活動</li> <li>・黄色い旗を使った災害時の安否確認の取組み 「無事です」と印刷された黄色い旗を自治会加入世帯に配布。災害時に旗を玄関先に掲出することで近隣住民に無事を知らせるもの。地区総合防災訓練や、各単位自治会による活用も見込む。</li> <li>・看板及び折りたたみ式ごみ収納容器の設置 ごみ集積所におけるごみ出しのルールとマナーの遵守や、自治会が清掃・管理している旨周知する看板をごみ置き場に設置し、自治会活動の対する理解や重要性を訴える。また、ごみ集積所の美観を保つために、折りたたみ式ごみ収納容器を希望する自治会のごみ集積所に新たに設置し、地域住民が安全安心に暮らせるように美化活動を推進している自治会活動への理解を促す。</li> </ul>	
交付決定日	令和2年5月25日	
交付確定金額	1,193,000 円	(全体事業費 1,431,904 円)
団体実績報告	<p>◇事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会加入促進活動 新型コロナウイルスの影響により麻溝ふるさとまつりが中止となったため、まちづくりセンター窓口来場者や、転入者に対し、チラシや啓発物品を配布し、自治会加入を訴えた。</li> <li>・黄色い旗を使った災害時の安否確認の取組み 新型コロナウイルスの影響により、今年度の地区総合防災訓練では各家庭が参加できる「黄色い旗安否確認」を中心に実施した。なお、黄色い旗は新規自治会加入者にも配布。</li> <li>・折りたたみ式ごみ収納容器の設置 20台を設置(大サイズ3、マンションサイズ4、中サイズ3、小サイズ10)</li> </ul> <p>◇自己評価 自治会活動は、地域住民の相互理解の下、活動が円滑に行われるものである。より多くの方に自治会活動を理解していただき、参加していただくことにより、地域コミュニティの輪が広がるよう引き続き努めていきたい。</p>	
市評価	ごみ収集容器や看板の設置や、災害時における安否確認のための黄色い旗の取組により、自治会活動への理解が深められたことは評価する。今後、より自治会加入促進が図られることを期待する。	
備考		